



## 虻川政義氏 総務大臣感謝状

昭和46年5月に町議会議員に初当選され、現在9期目を迎え、35年間にわたり地方自治の振興発展に寄与され住民福祉の向上に尽力され、その功績が讃えられて10月17日に総務大臣より感謝状が贈られました。

この間、総務福祉常任委員長などの重責を務められ、現在も議会運営委員会副委員長として、常に建設的な意見を提唱され、地方自治の確立と進展のためにご尽力いただいています。また、平成25年度和寒町功労章も受章されています。

## 三徳 厚生労働大臣表彰

町内の飲食店「三徳」が平成26年度食品衛生優良施設として厚生労働大臣賞を受賞されました。

昭和31年創業で58年の歴史を持ち、食品衛生の向上の功績が認められたものです。

10月24日に東京都内で開催された式典に3代目の高瀬彰さんが出席し、表彰状を受け取りました。

高瀬さんは「立派な賞に恥じないように、また、店名の由来である味、量、価格の3つの徳をお客さまに届けられるようこれから頑張っていきたい」と受賞の感想を述べられました。



故三浦綾子さんの夫  
三浦光世さん逝去

「塩狩峠」「氷点」などの名作で知られる作家、故三浦綾子さんの夫である三浦光世さんが十月三十日、旭川市内の病院で敗血症のため息を引き取られました。九十歳でした。

光世さんは同じキリスト教徒であった綾子さんと結婚され、綾子さんの小説家としてのデビュー作である「氷点」の出版を機に、綾子さんの執筆活動を支えるため当時務めていた営林局を退職されました。

小説「塩狩峠」の執筆からは、闘病中で体調の優れない綾子さんの



塩狩峠記念館内に設置した追悼コーナー

創作活動を「口述筆記」という形で支えるなど、光世さんと綾子さんは二人三脚で数多くの作品を生み出してきました。

また、三浦家の旧宅を再現した塩狩峠記念館開館式の際にはご夫婦で出席され、光世さんは塩狩峠記念館や町立図書館で講演会もされています。

綾子さんが逝去された後も綾子さんの思いを伝えるため、日本だけでなく海外でも講演会を開催されるなど、精力的にご活躍されました。

町では、塩狩峠記念館のほか役場庁舎や町立図書館に生前の写真と花を飾り弔意文を掲示しました。また、十一月三日の葬儀には町を代表して広富副町長が参列しました。